高めよう、防犯意識

久が原地区管内	人口	男	12,533人
		女	12,849人
		計	25,382人
	世帯		11,297世帯

平成15年12月1日現在

くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085大田区久が原2-19-3
TEL（3752）4271
FAX（3752）4514
題　字：三木兼吉

年頭のごあいさつ
久が原地区自治会連合会長　松田　清

明けましておめでとうございます。

皆様にはお元気で新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃は、各地区の自治会に対し、暖かいご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。今年も変らぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年も国内においては、暗いニュースが氾濫する中、久が原では大きな感動が生まれました。

都立雪谷高校の甲子園出場です。久し振りに町の人々に明るい笑顔と、熱気と感動を肌で感じることが出来ました。

今年も良い年となりますように、そして、皆様方のご繁栄、ご健勝を心より祈念申し上げ、年頭のごあいさつと致します。

久が原東自治会長　天野　重夫
久が原西自治会長　松田　清
久が原南自治会長　佐々木琢磨
道々橋自治会長　醍醐　精一
ヒルズ久が原自治会長　山本竜三郎

防犯・防災シリーズ⑥
安全なまちづくり
地域における防犯ボランティア活動への取り組み

東京都内の犯罪発生状況は平成十一年以降四年連続して増加の一途をたどっています。内容的にも犯罪の悪質化、凶悪化、巧妙化の傾向が一段と進み、都内の治安情勢は憂慮すべき状況となっています。

このために『東京都安全・安心まちづくり条例』が昨年十月一日に施行されました。この中のひとつに〃防犯ボランティアに対する助言等の支援〃があり、各地域においてボランティア防犯活動への支援を各警察署でおこなっています。池上警察署管内では、池上駅前交番を基点として夜間の防犯パトロールをおこなっている自主防犯パトロール隊〃ピースアンドセイフティ池上（P・S・I）〃が活動しています。

去る十月十八日には、久が原東自治会防犯部と共同で久が原東自治会範囲内の夜間パトロールを実施しました。鶯色のジャンパーに身を固め、駅前の繁華街や人通の少ない裏道などをパトロールし、防犯活動をおこなっております。

私たち久が原地区も、夏休み中は青少年対策委員会のメンバーによる週末の夜間パトロールを、年末には各自治会による夜警パトロールが実施されています。

このようにいろいろな形での防犯活動がおこなわれても犯罪の減少が見られない状況にあり、日ごろからの注意が必要です。ご近所同士の日ごろのお付き合い、声の掛け合いが防犯体制の基本になっていることをもう一度見直してはいかがでしょうか。

（篠沢　英一郎）

「平和で安全な生活を送ることが出来るよう、池上地区住民が立ち上げたボランティアグループです。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。（P・S・I代表世話人　吉崎道子様談）」

成人の日に寄せて
「ステキな大人になりたい」
福島アグネス

大学生の私にとって、二十歳という節目はあっけなく訪れました。働いているわけでもなく、親元を離れているわけでもないので、しばらくは実感がわかなかったです。

でも、お陰で今は精一杯勉学に励むことができ、またやりたいと思うことを自分でよく考えて自由にでき、充実した日々を送っています。本当にやりたいことは何だろう、できることは何だろう、と将来に大きな希望と少しの不安を抱えている時でもあります。

私が久が原に来たのは七歳の時で、その後引越す機会があっても迷わず久が原にしました。

はじめの印象は「静」と「動」でしたね。普段は静かで住みやすく、お祭りやイベントはとても活気があって、まさに私の理想的な場所でした。

この地でたくさんの方々に支えられながら成長し、健康第一で成人式を迎えることができることが何よりも嬉しいことです。一人前のステキな大人になれるよう多くのことを吸収していきたいです。

成人の日に寄せて
「ビバッ成人！」
髙嶋隼人

二十回目の誕生日を迎えた。幼少の頃よく二十歳になった自分を想像して楽しんでいた記憶がある。はたしてあの頃の私に誇れる自分になれているだろうか。

さてどうやら成人を迎えたらしい。とは言うものの別に特別なことが起こる訳ではない。それなら成人とは何か。

大切な事は常に自ら考えることだと思う。世界に生きる人間の一人というスタンスで自分の意見を持ちたい。そして更に重要なのがその考えに基づいて行動することだと思う。考えているだけでは進まない。具体的に動けば具体的な答えがでるのだ。そしてその答えを再度考える。これを繰り返すことによって人は成長し自覚や責任といったものを得る。どうやらこの延長線上に成人するということがあるようだ。

不安な状況が続く現代社会において、もう保証された道はない。我々のこれから歩む道は、自分で創り自分で進む。人任せや将来への先送りは許されないのだ。今からここから始めよう、二十歳の夜にそう誓った。そして、二十年後をまた想像していた。

これ、なんだろう？

お庚申さま

「庚申待ち」庚申の日の夜を眠らずにすごし、健康で長生きしようという伝統行事

「まちの道端にある小さなお堂、何が祀られているんだろうか」と疑問に思い、地元のお年寄りに聞きましたら〝お庚申さま〟とのこと。久が原の地区には久原小学校を中心として周囲5ヶ所に庚申塚があります。

庚申（かのえさる）信仰は江戸時代からの民間信仰で、古くは奈良時代に中国から伝えられたものと言われています。『庚申様』を信仰する人々が供養のために建てた石塔や像を納めた堂で、道の辻（村の出入り口）や寺の庭などに建てられています。庚申（かのえさる）の日に帝釈天、青面金剛……神道では猿田彦……を祀って徹夜で談笑しながら夜を過ごす行事（庚申待ち）があったようです。今でも講や保存会の方々によってお堂の前で〝健康で安全を祈る祭り〟が行われています。

以下に久が原の町の庚申塚を大田区郷土の会（歴史散歩）の資料に基づき説明します。

1 **久が原2―7**
＊板碑型・文字塔（奉造立帝釈天王） 元禄五年（一六九二）
＊駒形青面金剛立像 元禄十三年（一七〇〇）
保存会が作られ毎年一回庚申の日に祭礼が行われています。

2 **久が原3―14**
＊駒形青面金剛立像 元禄十四年（一七〇一）
＊駒形青面金剛立像 享保二十年（一七三五）

3 **久が原2―19**
＊駒形青面金剛立像 正徳三年（一七一三）

4 **久が原2―28**
＊平頂角柱型・文字塔（南無妙法蓮華経庚申供養） 享保二十年（一七三五）
明治時代、用水改修工事の際に発掘され、現在地に祭られたため最初の建立場所は不明。

5 **久が原2―19 本光寺境内**
＊板碑型 侍大帝釈天王 寛文九年（一六六九）
大田区内では最古の文字塔

（小原 洪一）

学舎へのアプローチ

デッキからは久が原の街

久原小学校長 清水 一豊

冬休み中の引っ越しも終え、三学期から子どもたちは校門をくぐって校庭へ、そして階段を上って、二階の玄関へ、という動線になります。門から玄関までのアプローチは子どもたちの学校生活の始まりと終わりに繰り返され、思い出に刻まれる風景と考えています。

玄関前のデッキは広く、登校下校時のひとときを様々なスタイルで過ごすことができる魅力のスポットになりそうです。澄み渡る空に欅と建物が溶け込む久が原の風景が新鮮に映りそうです。新装久原小をぜひ、お立ち寄りください。

久が原の人シリーズ⑦

「九十歳現役の仕事人」岸 竹治さん

溶接業特有の出立ちで、サングラスを掛け、赤銅色の炎を巧みに操る

九十歳を目前に、まだ、バリバリの現役仕事人。

大正四年一月の卯年生まれ、年が明け、この一月には九十歳になる。新潟県西山町で生を受け、時の総理大臣、田中角栄氏は、四歳年下の幼馴じみだったという。

昭和三年知人を頼って上京、現在の地、仲池上へは昭和十三年より居を構えている。

仕事は溶接業を営み、古くからのお得意さんから定期的に受注があり、数人の従業員と注文に応じている。

時々伺うと、溶接業特有の出立ちで、サングラスを掛け、赤銅色の炎を巧みに操る姿からは、九十歳を迎える人とはほど遠い。

岸さんには「寄る年波」の言葉を忘れさすほど元気だ。

数年前まで、八幡神社の総代、地元での世話役で飛び回っており、また、四年程前には、かつて自治会長を務めたにもかかわらず、再度、役員として、各自治会とのパイプ役を果たされた。

そのエネルギッシュな行動力、元気印は、誰もが認めるところである。

九十歳と人も羨む長寿を迎えられているが、人生を振り返ると「いい事よりも苦労の方が多かった。若かったし健康だったから乗り越えられてきたのかもしれません」との言葉には重みがある。

地元での宴席では、好きな酒杯を片手に、笑みを絶やさず、口角泡を飛ばして熱弁する姿は、誰もが親しみを抱いている。

最近、楽しみの一つとして、ゲートボールに興じている。

試合で各競技場へ出かける時は、場所によっては、自転車で移動している。

ハンドルを握れば「もう、こっちのものだ」と笑顔で走り去ってしまうほど元気だ。

岸さんの元気印に「引退」「ご隠居の身」はまだ十年早いと、謹んで申し上げたい。

（醍醐 精一）

イベント情報

■久が原東自治会合同新年会
【日　時】1月10日（土）正午
【会　場】久が原東部八幡神社社務所

■久が原西自治会新年会
【日　時】1月11日（日）午後1時
【会　場】久が原会館

■もちつき大会
【松仙小】1月18日（日）
【久原小】1月25日（日）

■道々橋自治会新年初詣
【開催日】2月1日（日）
【行き先】佐野厄よけ大師

■青少対子どもレク大会
【開催日】3月13日（土）
【会　場】大森第十中学校

以上詳しくは
久が原特別出張所まで
(3752) 4271

「久が原十選」のお知らせ　その3

地域情報紙「くがはら」では、名所、四季の風景等、久が原で推奨したい写真や絵などを募集し、「久が原十選」として掲載していきます。

募集期間は今年の4月～9月を予定しています。

ご連絡は、久が原特別出張所（地域情報紙担当）まで、よろしくお願いいたします。

㋷㋭㋮㋴㋫㋟㋛㋢㋑㋮㋜

委員会からのお知らせ

○平成十六年一月五日から、久が原特別出張所が所属する大田西地域行政センターのホームページが開設されます。この地域情報紙「くがはら」も、久が原特別出張所のページに掲載されます。アドレスは、次の通りです。
http://www.city.ota.tokyo.jp/ota/nishi/
ぜひご覧ください。

○久が原特別出張所は、今年の三月下旬に、久原小学校の敷地内に移転する予定です。よろしくお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年の成人式を迎えるお二人に、若さあふれる力強い言葉をいただきました。「くがはら」の紙面も、多くの方々にご登場いただき、さらに充実した地域情報紙となる様に努めます。皆様のご協力をお願いいたします。

（おばら）